

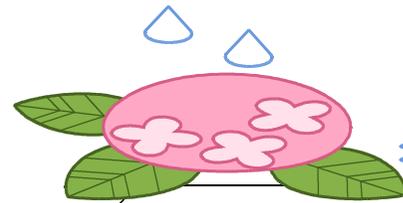
羅針盤

発行
令和4年6月14日
田彦中学校
キャリア教育部



3年生は修学旅行も成功裏に終わり、いよいよ最後の大会「総合体育大会」を迎える時期が近づいてきました。2年生も宿泊学習を終え、成長が一段と感じられるようになりました。1年生にとっても1年間が軌道に乗るかどうかが決める重要な時期となります。

「遠くを見つめて 現在(いま)を生きる」の言葉をもう一度よくかみしめながら、毎日を大切に過ごしてほしいと思います。



6月の進路学習



《第1学年》 『学校行事と年間予定』

初めての「中間テスト」が終わりました。中学校生活で行われる様々な行事や定期テストなどについて考えながら、学校生活がどのような目的で行われているのを知り、行事を成功させるポイントを話し合います。その中で、集団への所属意識や連帯感を高め、学校生活に意欲的に取り組んでいこうとする姿勢を作ります。

《第2学年》 『集団生活の向上を図るために』

社会生活の中で自分が迷惑したことや1年生での学校生活を振り返りながら、安心して生活できる学級はどのようなものかを考えます。そして、居心地のよい学級をつくるために自分ができる具体的な取り組みを話し合います。

《第3学年》 『地域・社会に生きる一員として』

自分の住む地域の実態に関心をもち、自分の住む地域でどのような貢献活動ができるかを話し合いながら、社会の一員として役割を果たすことの大切さを考え、地域の一員としての自覚を高めます。

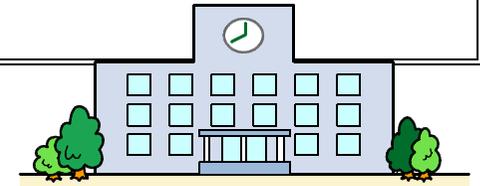
～遠くを見つめて 現在(いま)を生きる～

第3学年 高等学校学校説明会・授業体験

夏休みには、県立・私立を問わず、それぞれの学校で「高等学校学校説明会・授業体験」が行われます。今年度は各学校の説明会実施要項をGoogle Classroomに掲載して確認ができるようにしました。お子様がタブレットをご家庭に持ち帰った際に一緒にご確認ください。また、「令和4年度 茨城県立高等学校 学校説明会・授業体験等実施予定一覧(6/10)現在」を配付しました。そちらも併せてご確認ください。

『高等学校説明会・授業体験の意義』

- ① 自己の進路決定の材料を得るための、大切な機会の一つです。「百聞は一見に如かず」
- ② 高校入試のシミュレーションになる。
高校への行き方、集合の仕方、服装・身だしなみの確認(入試当日と同じ)「行ったことがある、知っている」は安心を生みます。
シミュレーションですから、突然のキャンセルや無断欠席・遅刻などは論外です。子ども達には、入試と同じような心構え、態度で臨めるよう事前指導します。



県立入試情報

茨城新聞(4月26日付)より抜粋

中高入試デジタル採点

県立高や県立中・中等教育学校の来春入試を巡り、県教委は25日、スキャナで読み込んだ解答用紙をパソコンで分析する光学的文字認識(OCR)を使い、「デジタル採点」を導入すると明らかにした。

読み取りは、選択式問題と記述式問題のいずれにも使う方向で検討する。選択式の記号なら、99%読み取れるという。

構想では、一つの回答を2系統のパソコンで採点する。パソコン上で結果をすり合わせた上、さらに各校の担当者がチェックする。

